

【 第32回オリンピック(東京2020) 】

2021年7月24日～8月8日 日本・東京

試合結果報告 7 月 31 日 (土)

JAPAN	vs	アンゴラ
13	1st	15
12	2nd	13
	ex	
	ex	
25	TOTAL	28

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
4	角南 唯	2				2
5	塩田 沙代					0
9	横嶋 彩		1			1
11	堀川 真奈		3			3
12	板野 陽					0
18	田邊 夕貴		1			1
21	池原 綾香	1				1
24	原 希美	4	2			6
27	佐々木 春乃		1			1
28	永田 しおり					0
30	亀谷 さくら					0
34	近藤 万春	1				1
40	藤井 紫緒	4	1			5
81	石立 真悠子	1	3			4
TOTAL		13	12	0	0	25

戦況

開始早々、池原のサイド、藤井の7mTで幸先良くスタートした日本は、6分過ぎから藤井の7mT、石立のエンピティゴール、角南の連打で6-2と4点リードする。しかし、ここから、アンゴラの高いポストと、ディフェンスの裏へのカットインなどで6連続失点、攻めては相手GKの再三の好セーブに阻まれ、リズムが悪くなる。それでも、19分半過ぎGK亀谷の堅守から近藤のカットイン、原の7mT、速攻で11-10と逆転に成功する。しかし、ここから、攻撃が中央に集中してしまい、パスカットやパスミスから4連続失点で再逆転を許す。攻撃もいい形は作るものの、またもや相手GKの好守に阻まれ、得点できない。苦しみながらも前半は1点差まで追い上げて終了する。

後半、先に流れをつかんだのはアンゴラ。9分過ぎから、7mT、サイド、ポストの連打で4連取、22-15とリードを7点差に広げる。今日から登録されたPV堀川の連打、相手7人攻撃を守っての連続エンピティゴールなどで追い上げムードが高まったかに見えたが、相手GKがノーマークを連続セーブするスーパープレーが飛び出し、流れを日本に渡さない。懸命に追いつける日本だったが、GK亀谷の好セーブがありながらもリバウンドをアンゴラに奪われる不運も重なり、攻撃面では最後までサイド攻撃を活かせず、25-28で敗戦。ノルウェーとの最終戦に予選リーグ突破を賭ける。

報告記入者 :

羽田